

平成25年度 第2回 平塚市図書館協議会 会議記録【要旨】

開催日時	平成25年11月26日(火) 14時00分～16時10分
開催場所	平塚市中央図書館 ホール
出席者	委員 葛西裕美子 会長 諸山 朝子 副会長 村山真由美 委員 加藤 利雄 委員 大河原将太 委員 小島 明子 委員 事務局 後藤信幸社会教育部長 和田芳男中央図書館長 池田教正北図書館長 脇孝行西図書館長 富田和博南図書館長 加藤祥管理担当長 菊坂伸江奉仕担当長 山田剛弘管理担当主査
傍聴人	0名

会議の概要

1 あいさつ 葛西裕美子会長

2 議 事

(1) 平塚市子ども読書活動推進計画(第三次)の概要

【事務局】 資料1「平塚市子ども読書活動推進計画(第三次)の概要」を基に説明を行った。

【委員】 策定委員会に子ども読書関係者や公募市民を入れなかった理由を伺いたい。

【事務局】 自由な市民意見を反映させるため外部委員のみで構成される懇話会を設け、子ども読書関係者等は、この懇話会に参加していただくこととした。

(2) 平塚市の図書館の課題と今期の図書館協議会のテーマの検討

【事務局】 資料3-1「今期の図書館協議会の今後のテーマの検討」を基に説明した。

【質疑】 なし

【事務局】 資料2-1「県内公共図書館75館の運営状況」と資料2-2「委託運営をしている県内図書館と本市図書館の比較」を基に説明した。

【質疑】 なし

【事務局】 資料2-3「公共図書館をめぐる新たな動き」を基に、「武雄市図書館」「川崎市中原図書館」「多賀城市図書館」「海老名市図書館」の事例を紹介した。

【委員】 海老名市が図書館を指定管理委託すると発表した状況の説明をもう少し詳しくお願いしたい。

【事務局】 海老名市では、平成24年4月に図書館業務は、教育指導課の児童育成係の一業務となり、館長は教育指導課長と兼務し、図書館協議会は廃止されている。

【委員】 委員から委員提供資料 1～3「武雄市図書館をめぐる新たな動き」を基に、武雄市図書館は多くの問題点が指摘されている点を紹介した。

【委員】 今まで武雄市図書館は、極めて特異な事例だと思っていたが、先ほど事務局から説明があったとおり、県内でも既に1/3の図書館が窓口業務等を委託しており、海老名市のように武雄市同様にCCC(株)と提携すると発表する自治体があると聞き、身近な問題として認識することができた。

さらに補足して、蔵書数などのデータや状況の他に、人件費などのコストや問題点も含めて情報提供していただけるとありがたい。

【事務局】 入手するのが難しい情報であるが、今後努力してみたい。

- 【 委 員 】 資料2-2で窓口業務を委託して、今のところ成功している横浜市山内図書館と藤沢市辻堂市民図書館を取り上げたが、成功した理由をどのように分析しているか。
- 【 事務局 】 時間をかけて計画的に導入し、その結果をきちんと検証し、その後の業務委託に反映させている点だと思う。
- 【 委 員 】 指定管理と民間委託があるが、同じ委託でもどういう点に大きな違いがあるのか。
- 【 事務局 】 一般論になるが、民間委託では、委託業者を選定する際に、コスト面での比較が主になるが、指定管理では、それだけでなく目標に対する手法の提案を数値化し検討することになるかと思う。
- 【 委 員 】 委託業者を選定する際は公募を実施するのか。
- 【 事務局 】 当然、公募することになるが、平塚市の図書館の場合は、委託に関しては検討の入口に入ったばかりであり、委託をすることを含めて何も決まっていない。
- 【 事務局 】 資料3-2「平塚市の図書館の課題(一覧)」を基に、それぞれ説明した。
- 【 委 員 】 歳入事業で、有料で特別研究室が利用できる説明があったが、存在すら知らなかった。どのようなPRをしているのか。
- 【 事務局 】 主に図書館ホームページで行っている。
- 【 委 員 】 市民が利用するのが理想だが、利用やそのPRは市内に限定されないと思う。
- 【 委 員 】 移動図書館の利用状況と南図書館運営事業で話があったビデオの問題を伺いたい。
- 【 事務局 】 移動図書館の利用が減少した時期はあったが、ここ数年は微増傾向にある。乳幼児連れの母子と高齢者の利用が多く、特にブックスタートを実施している公民館の利用が増加した。また、地区別では、地区館からも離れた岡崎・金目地区の利用が多い。
- 【 事務局 】 ビデオの不具合は、最初から最後まで見ないと資料か、機器かどちらに問題があるのか分からず原因の究明まで時間がかかる点が問題。DVD化も図書館の場合は著作権が絡み費用もかかるので、特に人も予算も限られている地区館では対応が難しい。
- 【 委 員 】 さきほど地区館長から事業への参加者数減の話があったが、紹介があった「おはなし会でポイントカードを配布した。」などの事例のようにどこも十分努力していると思う。ビデオ不具合も貸出の際に不具合があれば返却時に話すように伝えておけば良いことだと思う。参加者減の対応も「乳幼児が親子連れで図書館に来やすいようなスペースの創出」の提案も考えたが、人やスペースが限られた状況では実現は難しいと思う。要因は「歩きスマートフォン」など、今まで図書館を利用していた人が、他に興味があるものが出現したことにあるので、参加者減の原因を究明するより、今の利用者がさらに満足できることを色々試し、その中で一番良い方法を選択すれば良いと思う。
- 【 会 長 】 他に質問等はないか。なければ委員各位に今後のテーマに関して意見をいただきたい。
- 【 委 員 】 先ほど、移動図書館の利用について伺ったが、例えば移動図書館で、学校図書室を支援することや、学校図書室と公共図書館の蔵書のデータベースを共有するなど学校図書館と公共図書館の連携をテーマにしてはいかがかと思う。
- 【 委 員 】 国際化が進むに従いレファレンスサービスが重要になると思う。ただ具体的にどうやって議論するかは難しい。
- 【 委 員 】 地区図書館長から話があったが、私も「図書館は資料が命」だと思う。資料費が確保できなければ魅力的な図書館サービスはできないと思う。そのため新たな歳入確保策をここで提案し、平塚市と図書館を応援したい。

【 委 員 】 図書館サービスは公的なものが当たり前だと思っていたが、今日色々な情報提供を受けてそれは違いと分かった。ただし、この話は、ここではなく市でまず研究し、その結果を子ども読書活動推進計画(第三次)の策定状況と同様に、この協議会で報告していただき情報共有していけば良いかと思う。

【 委 員 】 さきほど意見があった「学校図書館と公共図書館の連携」は、平塚市子ども読書活動推進計画でも、計画の大きな柱となっている。この協議会でも検討し、第三次計画の中に反映できれば良いかと思う。

【 会 長 】 その他にはないか。なければ、まず「学校図書室との連携」「新たな図書館歳入確保策」をテーマとしていくことで良いか。

【 委 員 】 異議なし

### (3) その他

【 事務局 】 次回の協議会は来年の2月4日(火)を予定している。議題は、今回の協議会でテーマとなった「学校図書館と公共図書館の連携」「新たな図書館歳入確保策」で考えている。今回のように委員から資料の提供があれば、事務局も資料を収集し、検討ができるようにしたい。

また、来年度は、子ども読書活動推進計画(第三次)の策定作業があり、年4回を予定している。ここで協議した内容が図書館事業や計画に反映できるように最大限努力していきたい。

【 事務局 】 今後の図書館運営については、「指定管理者」「民間委託」「直営堅持」いずれも決めてはいないが、このままでは、財政的理由で資料費を減らし、事業を縮小せざるを得ない。これを打開するためにさらに庁内で検討して何らかの結論を出さなければならない。しかし、今はバブル時代のように「中央図書館は設備面で老朽化が進み市民ニーズに対応できないので建替」では到底通らない。だからと言って単に「民間委託して低コストで運営」も市民満足を満たすことは難しい。来年度から他のいくつかの社会教育施設で、民間企業などに指定管理委託を予定しているが、採用された事業者はどれも自分たちの長所を生かした新たな事業など魅力的な提案をしている。図書館も、今後も直営を堅持するとしても「他の社会教育施設や学校、地域と連携した新たな事業」など直営でしかできないようなサービスや事業展開を出していかないと、効率化だけで話が進むことになり、要求されている市民満足は得られない。平行して今ある人や資源を生かし利用者の満足度を向上させることも求められている。この協議会で、本日のように色々な方法を示し、各委員とメリット、デメリットを検討しながら今後の指針を示すことができればと考えている。

【 会 長 】 閉会を告げた。

以 上